

水道の凍結に注意!!

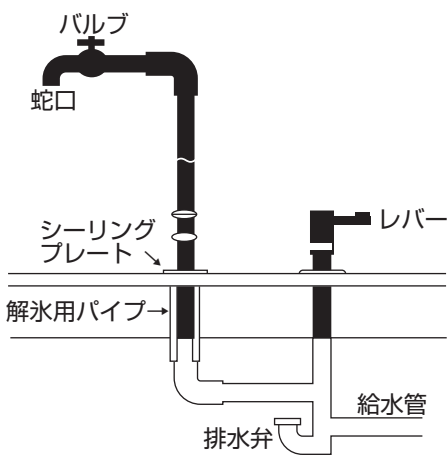
思いがけない水道管の凍結によって、水が使えなくなるばかりでなく、修理代などの思わぬ出費を防ぐためにも、就寝前や寒くて風の強い日中のちよつとした外出の時でも、水を落とすことをおすすめします。

水の落とし方

蛇口を開け、水を流したままにして水抜き栓のレバーかハンドルを閉めると水が抜けていきます。新しい建物では、電動式が多く、水抜きボタンを操作することで水道管の中の水が落とせます。停電後などは水が落ちている状態になっていることもありますので確認して下さい。

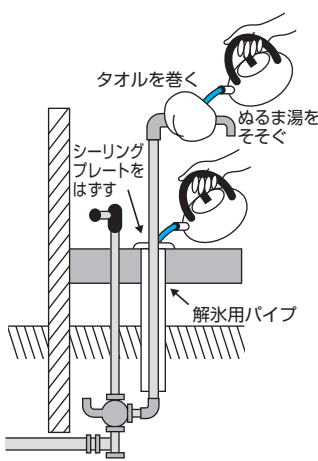
水落ちの確認

蛇口に手を当てると吸い付けられる感じがします。また、水を入れたコップを蛇口に当てると水が吸い上げられます。



もし水道管が凍結したら

- 蛇口や管にタオルを巻いて、ぬるま湯をかけて下さい。
- 床下の部分に解氷用パイプが取り付けられていれば、シーリングプレートを外し、ゆっくりぬるま湯を入れると床下の解氷ができます。
- ※電気解氷機を使用して解氷する場合、火災発生の危険性がありますので、なるべく苦小牧市指定の給水装置工事業者に依頼して下さい。

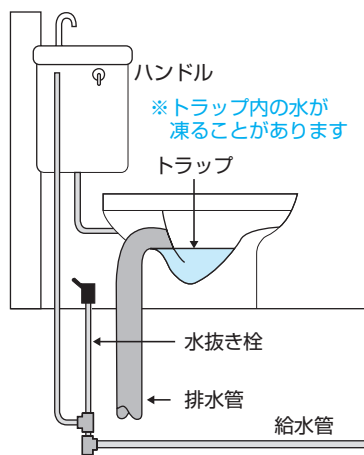


トイレの水の落とし方

タンクのハンドルを「大」の方向に回し、タンクの水を出しながら水抜き栓を閉めて下さい。水の入れ方は、タンクのハンドルを軽く動かしてから水抜き栓を開けて下さい。

もしトイレが凍結したら

タンクや便器は陶器ですから、熱湯をかけると破損する恐れがあります。必ずぬるま湯をかけて、ゆっくり溶かして下さい。



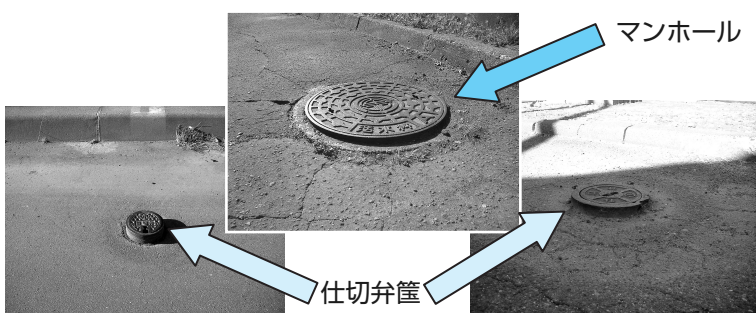
訪問販売にご注意を!

上下水道部職員を装ったり、あたかも上下水道部が勧めているかのような言葉で、家庭を訪問して「この水は水質が悪いから」と言って高価な浄水器の購入を勧めたり、強引に給水管や排水管の点検・清掃・修理を行って、高額な代金を請求する訪問販売が急増しています。上下水道部では、そのような指導・指示は一切行っておりません。ご注意ください。なお、給排水設備の修理等については、市指定業者へ相談して下さい。

仕切弁筐・マンホールの飛び出しに注意!!

苦小牧市では、道路上にある仕切弁筐やマンホールの飛び出し、破損等についてパトロールを行い、危険箇所があれば修繕しています。

仕切弁筐やマンホールが大きく飛び出していると、つまづくこともあり危険です。市民の皆様も、危険箇所を発見したときは、左記へご連絡下さい。



○仕切弁筐は

水道管理課配水管係
電話 0144-32-6701(直通)

○マンホールは

下水道計画課管理係
電話 0144-32-6604(直通)